



2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 康裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 TEL 03 (5217) 6660
 定時株主総会開催予定日 2021年3月26日 配当支払開始予定日 2021年3月12日
 有価証券報告書提出予定日 2021年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期の連結業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	2,879	△41.0	△707	—	△777	—	△697	—
2019年12月期	4,882	52.2	194	506.4	246	353.2	184	72.5

(注) 包括利益 2020年12月期 △725百万円 (—%) 2019年12月期 708百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年12月期	△64.50	—	△8.2	△8.3	△27.0
2019年12月期	17.10	—	2.1	2.6	4.0

(参考) 持分法投資損益 2020年12月期 一百万円 2019年12月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期	8,786	8,300	92.2	749.65
2019年12月期	9,840	9,078	90.9	827.31

(参考) 自己資本 2020年12月期 8,103百万円 2019年12月期 8,943百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年12月期	△526	2,113	△97	6,732
2019年12月期	131	△190	△97	5,329

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00	97	52.6	1.1
2020年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00	97	—	1.1
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00		172.5	

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,955	27.7	△45	—	△45	—	△47	—	△4.43
通期	4,349	51.0	62	—	66	—	56	—	5.22

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 — 社（社名） 除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	12,340,100株	2019年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2020年12月期	1,530,037株	2019年12月期	1,530,021株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	10,810,065株	2019年12月期	10,810,079株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	1,588	△52.8	△689	—	△762	—	△672	—
2019年12月期	3,367	6.7	169	344.1	224	208.0	154	116.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期	△62.18	—
2019年12月期	14.25	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年12月期	8,490		8,191		94.4		742.28	
2019年12月期	9,428		8,970		93.8		818.42	

(参考) 自己資本 2020年12月期 8,024百万円 2019年12月期 8,847百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済環境は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による企業活動の制約や外出規制等による個人消費の落ち込みにより企業収益の悪化が見られ、経済活動の停滞が懸念され先行きの不透明感が広がりました。

このような環境の下で、当社グループは当期より2022年度を目標年次とする中期経営戦略「5G&Beyond」をスタート致しました。戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長ユースケースで生み出す粗利金額の倍増を目標とし、また更に戦略5ゴール目標を超えた長期成長に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当連結会計年度の売上高は、LSI事業では主に国内市場向けの製品出荷が低調に推移し、計画を下回りました。AIOT事業においても一部製品の納期後倒しや顧客開発案件の遅れ等により当初の見込みを下回って推移しました。これらの結果、当連結会計年度の売上高は、28億79百万円（前期比41.0%減）となり、また売上総利益は14億60百万円（前期比44.1%減）となりました。販売費及び一般管理費については、前期より引き続き新しいニーズに対応するための積極的な研究開発投資（9億4百万円、前期比12.7%減）を行い、販売費及び一般管理費全体として、21億67百万円（前期比10.4%減）となりました。これらの結果、営業損失7億7百万円（前期は営業利益1億94百万円）、経常損失7億77百万円（前期は経常利益2億46百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失6億97百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益1億84百万円）となりました。

セグメント別の状況

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を事業セグメント区分としております。

（単位：百万円）

		2020年12月期	2019年12月期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	1,616	3,416	△52.7
	営業利益	△682	269	—
AIOT事業	売上高	1,263	1,466	△13.8
	営業利益	△25	△74	—
	のれん償却前 営業利益	105	55	+89.7
合計	売上高	2,879	4,882	△41.0
	営業利益	△707	194	—

(LSI事業)

当連結会計年度のLSI事業の売上高は、主に国内市場の顧客向け製品出荷が低調となり、計画を下回って推移しました。産業機器市場向けビジネスは、コロナ禍によりオフィス関連需要やパチンコ等のアミューズメント機器関連需要が低迷する中で、主に国内の同市場向け製品出荷が大きく落ち込み、全体として前期比54%の減少となりました。同市場向けのビジネスはLSI事業の売上全体の約59%を占めております。車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約26%を占めております。国内顧客向けの製品出荷が大きく落ち込んだ一方、中国及び北米顧客向けのアフターマーケット向けや車載純正品向けの製品出荷は堅調に推移しましたが、全体としては前期比44.3%の減少となりました。民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の約15%を占めております。国内顧客向けのモバイル機器向け製品の出荷が大幅に減少した一方、中国市場向け製品出荷は改善し、全体で前期比56%の減少となりました。これらの結果、LSI事業の売上高は16億16百万円（前期比52.7%減）、売上総利益は10億4百万円（前期比52.7%減）となりました。

当連結会計年度においては、前期より引き続き新しいニーズに対応した研究開発を積極的に実施いたしました。車載カメラ、医療カメラ、認証用カメラ等のニーズに対応するための高速インターフェースV-by-One®HS新製品ラインアップや画像処理ソリューションの開発、複数信号を束ねてケーブル本数の抜本削減を可能とする高速通信トランシーバ製品の開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、研究開発費8億40百万円を計上いたしました。なお、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発は昨年度に採択されました国立研究機関および諸大学との共同研究プロジェクトとして開発を行っており、研究開発費の一部を総務省にご負担頂いております。

これらの結果、LSI事業の当連結会計年度における営業損失は6億82百万円（前期は営業利益2億69百万円）となりました。

（AIOT事業）

当連結会計年度の売上高は、一部の顧客向けの製品で納期後倒しや開発案件の遅延等に起因する売上計上の後倒しが発生し、前年同期比で減少となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大予防に貢献する非接触型AI顔認証検温システムの販売を2020年3月より開始しました。同システムはホール型、サイネージ型およびゲート型の3種類のシステムをラインアップし、当連結会計年度においては400台を超える納入実績をあげ、AIOT事業の売上高の約23%を占め、当期の売上に貢献いたしました。これらの結果、AIOT事業の売上高は12億63百万円（前期比13.8%減）、売上総利益は4億55百万円（前期比6.8%減）となりました。

当連結会計年度においては、前期より引き続きAI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移動通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、通信型ドライブレコーダ等に向けた研究開発を行いました。さらに非接触型AI顔認証検温システムなどAIソリューションの研究開発も進め、全体として研究開発費63百万円を計上いたしました。また、同事業におけるM&Aに伴うのれんの償却額1億30百万円等を計上いたしました。

これらの結果、AIOT事業の当連結会計年度における営業損失は25百万円（前期は営業損失74百万円）となりました。なお、前述の、のれん償却前の営業利益は1億5百万円（前期比+89.7%）となりました。

②今後の見通し

次期における経済環境は、当社グループ事業も引き続き厳しい市場環境下での事業運営となる見込みですが、一方で主要ビジネスにおける需要回復の傾向も見られ、今後の成長に向けた大きなチャンスでもあると認識しております。中期経営戦略「5G&Beyond」における戦略5ゴールでの成長ユースケースでの貢献を目指し、国内外における新型コロナウイルス感染症拡大により激変する市場環境の中で、新常态（リモート、非対面、非接触、無人化等）に求められるニーズやカメラ・ディスプレイの高解像度化のニーズへの貢献に対して、より一層重点強化して参ります。

次期の営業活動においては、LSI事業では、車載カメラの高解像度化に貢献するV-by-One®HS技術およびV-by-One®技術搭載新製品およびソリューションの提供、産業機器市場のIoTシステムにおけるコネクティビティのスマート化に貢献する高速通信トランシーバーLSI製品の市場投入を加速して参ります。AIOT事業では、主力の通信モジュール製品のラインアップに5G対応製品を加え、市場投入し、同技術を活用したIoTソリューション製品の提供をさらに加速して進めて参ります。

研究開発活動についても、上記2事業に対して、総額9億22百万円（前期比1.9%増）を投資する計画としております。

以上により、次期の業績見通しにつきましては、最新の市場環境に鑑みまして、連結売上高は43億49百万円、売上総利益22億31百万円、営業利益62百万円、経常利益66百万円、親会社株主に帰属する当期純利益56百万円を見込んでおります。

（2）当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は、現金及び預金が増加した一方、売掛金の減少やのれんの償却および投資有価証券の売却等により、前連結会計年度末と比較して10億54百万円の減少となりました。また、負債合計は、買掛金や未払法人税等の減少等により2億75百万円の減少となりました。純資産合計は、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により7億78百万円減少して83億円となりました。

これらにより、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の90.9%から92.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前当期純損失を6億78百万円計上した一方、売掛金の減少等により5億26百万円のマイナスとなりました。（前期は1億31百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入等により21億13百万円のプラスとなりました。（前期は1億90百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払い等により97百万円のマイナスとなりました。（前期は97百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として14億2百万円増加して、当連結会計年度末残高は67億32百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に判断していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,329,928	6,732,242
売掛金	848,434	352,701
商品及び製品	146,477	183,198
仕掛品	62,358	62,953
原材料	31,715	70,313
その他	105,552	315,840
流動資産合計	6,524,466	7,717,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	147,322	149,937
減価償却累計額	△99,255	△85,047
建物及び構築物（純額）	48,066	64,890
車両運搬具	12,721	13,300
減価償却累計額	△2,126	△5,043
車両運搬具（純額）	10,594	8,256
工具、器具及び備品	489,683	456,222
減価償却累計額	△446,563	△419,860
工具、器具及び備品（純額）	43,120	36,361
土地	3,275	3,275
有形固定資産合計	105,056	112,782
無形固定資産		
のれん	521,358	391,018
ソフトウェア	6,386	5,619
電話加入権	780	780
無形固定資産合計	528,526	397,419
投資その他の資産		
投資有価証券	2,556,309	457,803
繰延税金資産	14,555	19,136
その他	111,732	82,161
投資その他の資産合計	2,682,597	559,101
固定資産合計	3,316,180	1,069,303
資産合計	9,840,646	8,786,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,004	119,727
未払法人税等	50,605	2,629
賞与引当金	50,595	2,157
役員賞与引当金	10,977	—
製品保証引当金	—	2,418
その他	208,607	228,274
流動負債合計	619,791	355,207
固定負債		
繰延税金負債	3,367	—
退職給付に係る負債	21,139	19,052
資産除去債務	25,073	26,119
その他	92,567	85,862
固定負債合計	142,148	131,035
負債合計	761,939	486,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,286,608
利益剰余金	8,749,324	7,954,809
自己株式	△2,291,882	△2,291,902
株主資本合計	8,919,316	8,124,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,762	△68,396
為替換算調整勘定	38,690	47,366
その他の包括利益累計額合計	23,927	△21,030
新株予約権	122,994	167,235
非支配株主持分	12,468	29,323
純資産合計	9,078,707	8,300,311
負債純資産合計	9,840,646	8,786,554

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	4,882,435	2,879,686
売上原価	2,269,485	1,419,449
売上総利益	2,612,949	1,460,237
販売費及び一般管理費	2,418,506	2,167,400
営業利益	194,443	△707,162
営業外収益		
受取利息	14,546	5,817
受取配当金	50,735	12,934
投資事業組合運用益	—	18,010
雑収入	11,629	12,552
営業外収益合計	76,911	49,315
営業外費用		
為替差損	20,645	119,696
固定資産売却損	3,477	—
雑損失	240	98
営業外費用合計	24,362	119,794
経常利益	246,992	△777,641
特別利益		
投資有価証券売却益	—	99,093
新株予約権戻入益	126	36
特別利益合計	126	99,129
税金等調整前当期純利益	247,118	△678,511
法人税、住民税及び事業税	53,297	6,900
法人税等調整額	△5,963	△4,580
法人税等合計	47,333	2,320
当期純利益	199,784	△680,832
非支配株主に帰属する当期純利益	14,912	16,391
親会社株主に帰属する当期純利益	184,871	△697,223

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	199,784	△680,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	515,148	△53,633
為替換算調整勘定	△5,970	8,676
その他の包括利益合計	509,178	△44,957
包括利益	708,962	△725,789
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	694,240	△741,704
非支配株主に係る包括利益	14,721	15,914

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,175,267	1,291,162	8,661,743	△2,291,882	8,836,289
当期変動額					
剰余金の配当			△97,290		△97,290
親会社株主に帰属する当期純利益			184,871		184,871
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△4,553			△4,553
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計	—	△4,553	87,580	—	83,026
当期末残高	1,175,267	1,286,608	8,749,324	△2,291,882	8,919,316

(単位：千円)

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△529,911	44,660	△485,250	61,675	1,941	8,414,656
当期変動額						
剰余金の配当			—			△97,290
親会社株主に帰属する当期純利益			—			184,871
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			—			△4,553
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	515,148	△5,970	509,178	61,319	10,527	581,024
当期変動額合計	515,148	△5,970	509,178	61,319	10,527	664,051
当期末残高	△14,762	38,690	23,927	122,994	12,468	9,078,707

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,175,267	1,286,608	8,749,324	△2,291,882	8,919,316
当期変動額					
剰余金の配当			△97,290		△97,290
親会社株主に帰属する当期純利益			△697,223		△697,223
自己株式の取得				△19	△19
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計			△794,514	△19	△794,534
当期末残高	1,175,267	1,286,608	7,954,809	△2,291,902	8,124,781

（単位：千円）

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△14,762	38,690	23,927	122,994	12,468	9,078,707
当期変動額						
剰余金の配当						△97,290
親会社株主に帰属する当期純利益						△697,223
自己株式の取得						△19
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△53,633	8,676	△44,957	44,241	16,855	16,138
当期変動額合計	△53,633	8,676	△44,957	44,241	16,855	△778,395
当期末残高	△68,396	47,366	△21,030	167,235	29,323	8,300,311

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	247,118	△678,511
減価償却費	31,008	47,447
のれん償却額	130,339	130,339
株式報酬費用	61,445	44,277
新株予約権戻入益	△126	△36
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35,228	△48,437
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	588	△10,977
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	2,418
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,610	△2,087
投資事業組合運用損益 (△は益)	△2,023	△4,302
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△99,093
受取利息及び受取配当金	△65,281	△19,750
支払利息	240	1,139
為替差損益 (△は益)	21,659	85,901
固定資産売却損益 (△は益)	140	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△411,703	663,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	69,072	△75,922
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	10,394	△171,356
仕入債務の増減額 (△は減少)	54,958	△349,292
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△79,955	△6,877
その他	608	△842
小計	106,320	△492,455
利息及び配当金の受取額	65,741	19,774
利息の支払額	△240	△87
法人税等の支払額	△40,386	△54,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,434	△526,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△17,108	△44,045
固定資産の売却による収入	1,043	—
資産除去債務の履行による支出	—	△16,128
敷金の回収による収入	359	1,206
敷金の差入による支出	△3,935	△783
投資有価証券の売却による収入	—	2,118,737
投資有価証券の取得による支出	△15,760	—
投資有価証券の償還による収入	48,521	9,691
投資事業組合からの分配による収入	16,300	16,300
子会社株式の取得による支出	△219,984	—
その他	146	29,007
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,417	2,113,986
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,290	△97,290
その他	△138	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,429	△97,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,311	△87,167
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△185,723	1,402,313
現金及び現金同等物の期首残高	5,515,652	5,329,928
現金及び現金同等物の期末残高	5,329,928	6,732,242

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「LSI事業」および「AIOT事業」の2つを報告セグメントとしております。

「LSI事業」は、各種用途向けミックスドシグナルLSIの開発・販売をしております。「AIOT事業」は、AI/IoT/M2M機器やモバイル通信機器のハードウェア・ソフトウェアの開発・製造・販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,416,103	1,466,332	4,882,435	—	4,882,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,416,103	1,466,332	4,882,435	—	4,882,435
セグメント利益又は損失 (△)	269,289	△74,846	194,443	—	194,443
セグメント資産	8,935,709	998,829	9,934,539	△93,892	9,840,646
セグメント負債	455,665	400,166	855,831	△93,892	761,939
その他の項目					
減価償却費	26,209	4,798	31,008	—	31,008
のれん償却額	—	130,339	130,339	—	130,339
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	15,481	222,560	238,042	—	238,042

(注) セグメント資産の調整額△93,892千円およびセグメント負債の調整額△93,892千円はセグメント間の相殺消去によるものであります。

当連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,616,284	1,263,401	2,879,686	—	2,879,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,616,284	1,263,401	2,879,686	—	2,879,686
セグメント利益又は損失 (△)	△682,119	△25,043	△707,162	—	△707,162
セグメント資産	8,016,284	834,764	8,851,048	△56,396	8,794,422
セグメント負債	288,799	205,540	494,340	△56,396	494,340
その他の項目					
減価償却費	43,425	4,021	47,447	—	47,447
のれん償却額	—	130,339	130,339	—	130,339
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	69,100	—	69,100	—	69,100

(注) セグメント資産の調整額△56,396千円およびセグメント負債の調整額△56,396千円はセグメント間の相殺消去によるものであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	827円31銭	749円65銭
1株当たり当期純利益金額	17円10銭	△64円50銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
連結貸借対照表上の純資産の部の合計額（千円）	9,078,707	8,300,311
普通株式に係る純資産額（千円）	8,943,244	8,103,751
差額の主な内訳		
新株予約権（千円）	122,994	167,235
非支配株主持分（千円）	12,468	29,323
普通株式の発行済株式数（株）	12,340,100	12,340,100
普通株式の自己株式数（株）	1,530,021	1,530,037
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式 の数（株）	10,810,079	10,810,063

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	184,871	△697,223
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	184,871	△697,223
普通株式の期中平均株式数(株)	10,810,079	10,810,065.45
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第10回新株予約権 株主総会の決議日 2017年3月24日 (新株予約権の数 2,035個) 第11回新株予約権 取締役会の決議日 2017年4月17日 (新株予約権の数 3,235個) 第12回新株予約権 取締役会の決議日 2019年4月15日 (新株予約権の数 3,997個)	第10回新株予約権 株主総会の決議日 2017年3月24日 (新株予約権の数 1,915個) 第11回新株予約権 取締役会の決議日 2017年4月17日 (新株予約権の数 3,195個) 第12回新株予約権 取締役会の決議日 2019年4月15日 (新株予約権の数 3,918個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

新任取締役候補

取締役 南 洋一郎 (現 AIOTソリューション部長)

退任予定取締役

取締役 佐々木 和久

③就任及び退任予定日

2021年3月26日